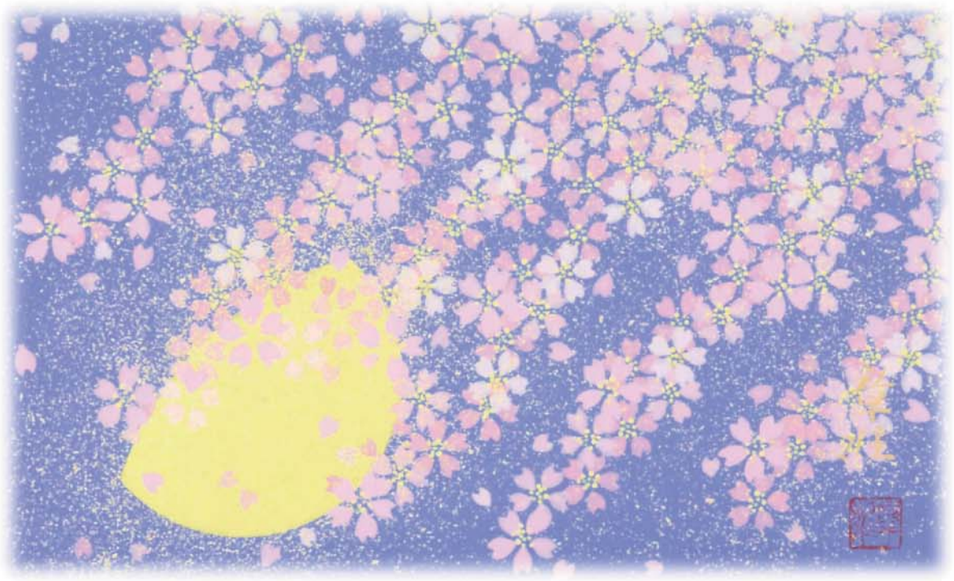
光輪

春彼岸号　第65号

〒950-2022新潟市西区小針４丁目５番１８号
真宗仏光寺派　瑞林寺　光輪会
電話　(025)266-1846
FAX　(025)266-1907
ホームページ　http://zuirinji.com/



みなさまどうぞお参り下さい

三月十八日（木）

お日中　十時半
お斎正　午
お逮夜　一時十五分

春のお彼岸法要
無量寿廟法要
本山お差向布教

布教使　福井県越前市
浄願寺住職　源善・浄・師

※月参り当日は休みます。
希望の方は前後にお参りしますのでご連絡ください。

春・彼・岸・法話

法話　住職　廣澤晃隆

極楽は有るのか無いのか

作家の司馬遼太郎さんが、あるお坊さんに「極楽はあるんですか」とたずねたら、「あるとかないとかという上にあるんです」と答えられたそうである。

極楽浄土は実体的に有るとか無いとかというものではなく、人間の思慮・分別を超えた絶対的な世界ということで、有るとか無いとかという観念を超えた、その上にある世界だとそのお坊さんは答えられたのでしょう。

私たちがこうして生きているということは不思議としか言いようがありません。理屈や理論では説明できないことばかりです。

そのことに素直に感謝できるか否か。感謝できるならばこんな幸せなことはありません。しかし何らかに不満を持ち、もっといい生活、いい環境を求めたがるのが私たちの根性です。

がばいばあちゃん

漫才師の島田洋七さんの「がばいばあちゃん」が人気です。がばいばあちゃんの人気の秘密はどんな苦しく貧しくても、とにかく明るくユーモアを忘れない芯の強さとたくましさです。

「ばあちゃん腹減った」と言えば「気のせいや」と言われ、みそ汁しかない日も「好きな物から遠慮せず食べんしゃい」と明るく言われる。貧しさの中で何でも笑いに変えるセンスが自然と身についたのも、がばいばあちゃんのお陰だと洋七さんは言われます。

ある日お仏壇にお供えするお仏飯を不思議に思い「ばあちゃん、どうして仏さんご飯食べへんのに供えるの？僕に食べさせてーや」と言うと、「お腹すいて本当に倒れそうになった時食べたらええ、その時仏さんに遇えるばい」と言われたそうです。人間ぎりぎりの所ではじめて、仏さまのはたらきを知ることができるというのは、人気が落ち芸能界から抹殺される体験を通してはじめて教えられたそうです。

人の悪い所はよくわかる

・がばいばあちゃんは旦那さんを四十二歳の時、七人の子どもを残して亡くされました。もともと先祖代々真宗門徒のお家で、小さい頃から家族に連れられてお寺参りをされていたそうです。旦那さんの死をきっかけにいよいよお念仏の教えを真剣に聞くようになり、地元では念仏ばあちゃんとして知られるようになりました。

洋七さんは、いつでも誰にでもニコニコ接し、人の悪口を言うことがなかったばあちゃんが、どうしてそんなふうにできるのかといつも不思議に思っていました。それがある日ふっと言われた言葉でわかったのです。

「人間、人の悪い所はよくわかる。自分のことが一番わからん。自分では自分のよかとこしかよう見えん。だから人を嫌うな」と。

旦那さん亡き後、必死に働いて子どもを育ててきたがばいばあちゃん。その中でお寺参りをしながらお念仏の教えをひたすら聞き続け見い出された言葉です。我が身の姿が見えてきた、でもそんな私でも救われている、それが本当の意味での極楽世界に出遇えた姿なのでしょう。

今は亡きがばいばあちゃん。でも洋七さんの中では、いつまでも極楽の仏さまとして生き続けられる大切なおばあちゃんです。

天地人　上杉謙信と直江兼継　ゆかりの地
米沢・上杉神社と林泉寺をたずねて

今年も恒例になりました、『春の日帰り研修バス旅行』を計画しました。

昨年はNHKの大河ドラマ「天地人」が盛り上がり、南魚沼の直江兼継の話題の地を巡り、上杉謙信が青年期に修業をした栃尾の瑞麟寺跡を訪ねました。今年も昨年に引き続き、上杉家ゆかりの地を巡りたいと思います。

上杉家の宝物や資料はほとんど米沢にあります。栃尾の瑞林寺由来の常安寺も上杉家といっしょに移されました。

また瑞林寺には戊辰戦争で亡くなった米沢藩の方々の碑「志士の碑」があります。瑞林寺ともたいへん結びつきの多い土地柄です。たくさんのご参加をお待ち申し上げます。

★出発日　5月14日（金）
★参加費一人７，５００円
（入館料・昼食含む）
★出発　瑞林寺　午前7時半
★申込みは別紙の案内状の申込み書にてお願いします。
★締切4月31日まで

研修行程

瑞林寺発－長井市白つつじ公園－米沢（昼食）－上杉神社・稽照殿【直江兼続の愛の前立ての兜など展示】－林泉寺【兼続夫婦の廟所、上杉家菩提寺】－常安寺（瑞林寺）－北会津・いちご狩り－会津坂下ＩＣ－瑞林寺　☆解散☆

宗祖親鸞聖人750回大遠忌お待ち受け大会

来年五月に迫った宗祖親鸞聖人の七百五十回御遠忌法要をお迎えするにあたり、お待ち受けの法要がつとめます。

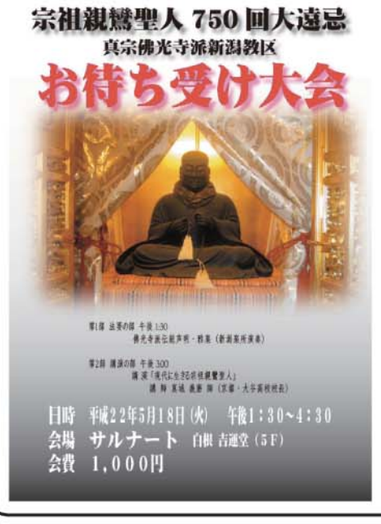
新潟教区の仏光寺派寺院のご門徒五百名が一同に集まり、来年の大遠忌を盛りあげていきたいと思います。一人でも多くのご参加をお待ちしております。

人と人とのつながりが希薄になり、何が真実かわからない時代に、あらためて宗祖親鸞聖人の念仏のみ教えに出会わさせていただく大切な大会です。

また来年の本番、七百五十回御遠忌法要には五十年に一度の大法要、ご本山に参拝下さるよう、ご参加お願いします。

○日時　五月十八日（火）　午後1時半より
○会場　白根　吉運堂ホール　サルナート
○会費　千円

☆申込みは瑞林寺まで。瑞林寺から会場吉運堂まで車が出ます。瑞林寺に集合ください。



法要五ヶ年計画御礼
五月末日で締め切り

平成十七年度よりお願いしていました法要五ヶ年計画、おかげさまで新住職の継職法要など諸法要をめでたく円成いたし、いよいよ明年に本山での宗祖親鸞聖人の五十年に一度の大法要、七百五十回忌の御遠忌を迎えることになりました。

尊い会員のみなさまのお志厚く御礼申し上げます。

合掌

お寺の告知板

毎月定例の聞法会

どなたでもご自由に足をお運びください。念仏の教えをわかりやすくお話いたします。

○『歎異抄』に学ぶ（毎月第三火曜）
宝池の会
十六日　午後2時より

○『阿弥陀経』に学ぶ（毎月第三水曜）
十七日　午後7時より

○『正信偈』に学ぶ（毎月二十八日）
二十八日講
二十八日　午後1時半より

『歎異抄』・『阿弥陀経』はその月によって変更する場合があります。

お朝じお参り
毎朝6時より　本堂にて
おつとめ
☆三部経を繰り読み
☆お正信偈
☆ご和讃六首引き
☆『歎異抄』拝読

●お朝じにお参り下さい。
●ごいっしょに永代経のおつとめをいたしましょう。
●お経本はすべて用意してあります。
●お経の読み方が習えます。
●お経の意味は法話会へご参加ください。
●亡き方を通して仏さまの教えに出遇って下さい。

瑞林寺の活動あれこれ　ご紹介
―寺子屋 日曜学校編―

昨年3月より、お寺の子ども会として日曜学校を始めました。毎週日曜日の朝8時半に本堂に子どもたちが集まり、お正信偈をみんなで唱和します。その後シャボン玉つくりや西川の花壇つくり、節分の豆まきなど毎週趣向をかえて楽しんでいます。

遊び場が無くなり、ガキ大将もいなくなった昨今ですが、お寺を開放して自由に遊ぶ子ども達は、自分たちでいろんなことを創造し発想し表現が豊かです。子どもたちに遊ぶ場を提供するだけで、じぶんたちで自由に遊びを考え出します。最近の子どもは元気がないというのは大間違い、子ども達は元気いっぱいです!!

活動内容
毎週日曜日
午前8時半～
○お正信偈
○紙芝居
○今週の挑戦！
（毎週いろんな遊びや物作りに挑戦します）
○本堂・境内で遊びます
○あとかたづけ
○恩徳讃
解散

3月14日（日）2時より、新潟大学児童文化研究部のみなさんに来ていただき人形劇をしてもらいます。くじ引きやゲームもあり、楽しい会ですのでご参加ください。

大きなシャボン玉つくり

女の子に人気だったクッキー作り

節分の豆まき大会

いろんな事にチャレンジ！

淤泥華（おでいげ）

●今年の冬は二十六年ぶりの大雪で、月参りをお休みさせて頂くお家もありました。車を出すことができず、また車を置く場所も確保できずに、やもうえないことではありましたが、申し訳ないことであります。

●今年から二十八日講をお正信偈のお勤めから瑞林寺全員で。法話は住職・前住職と二人で行うことにしました。二十八日講は享保二年から始まる三百年の歴史を持つお講です。毎月の親鸞聖人のご命日にずっと勤められてきました。瑞林寺の月命日としての大事な行事です。

●毎日一度はお内仏、月に一度はご本山と言われます。阿弥陀さまに向かう日々の積み重ねが豊かな人生につながるのではないでしょうか。

●春のお彼岸はもちろん、毎月のお寺の聞法会に足をお運び下さるようお願い申し上げます。